

暮らし快適 緑あふれるニューロード

外かく環状道路

みどりの道 6

■発行
建設省関東地方建設局 首都国道工事事務所
■お問い合わせ
〒271 千葉県松戸市竹ヶ花86 ☎0473・62・4115



「外かん」は人や車が
通るだけではありません。

道路の下も有効に活用されています。

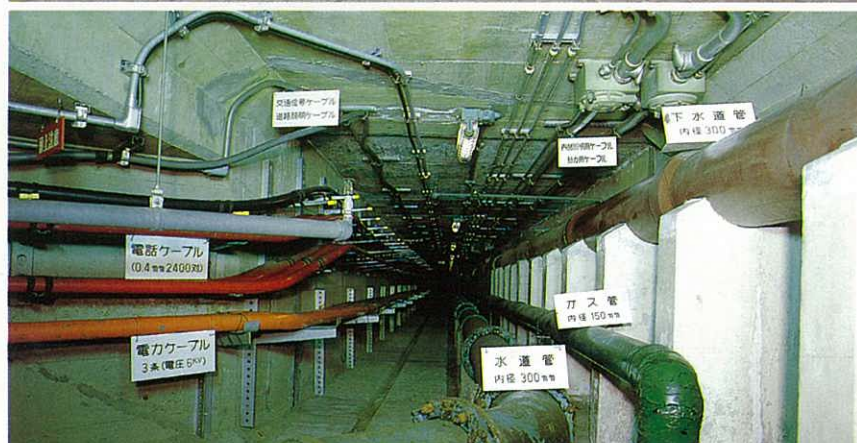
電気・ガス・水道・電話などは、私たちの日々の暮らしに欠くことのできないものです。また、下水道も都市生活を快適に維持するためには、なくてはならないものです。

そしてこれらの公共施設は、道路の地下空間に収容され、道路を通して各家庭に運ばれています。都市を身体にたとえれば、道路は水やガスなどの血液を流す血管の役割を果たしています。

「外かん」は日常生活の大動脈。

「外かん」には、片側だけでも16mにも及ぶ地下空間があり、ここには、さまざまな施設を収容することができます。そしてこの地下空間には、電気・ガス・水道・電話などの幹線のほかに、流域下水道の幹線を収容することが計画されています。

このように「外かん」は、都市の暮らしを支える大動脈として活躍します。



「外かん」の地下空間には、松戸市・市川市の流域下水道が計画されています。

江戸川左岸流域下水道の計画

松戸市と市川市の大部分は、江戸川左岸流域下水道によって、下水が処理される計画になっていますが、これは昭和48年に都市計画決定されています。この計画は、両市の公共下水道で集めた下水を3本の流域下水道幹線（江戸川幹線・松戸幹線・市川幹線）で受けて、2つの終末処理場で処理し、東京湾へ放流するというものです。

松戸幹線の計画

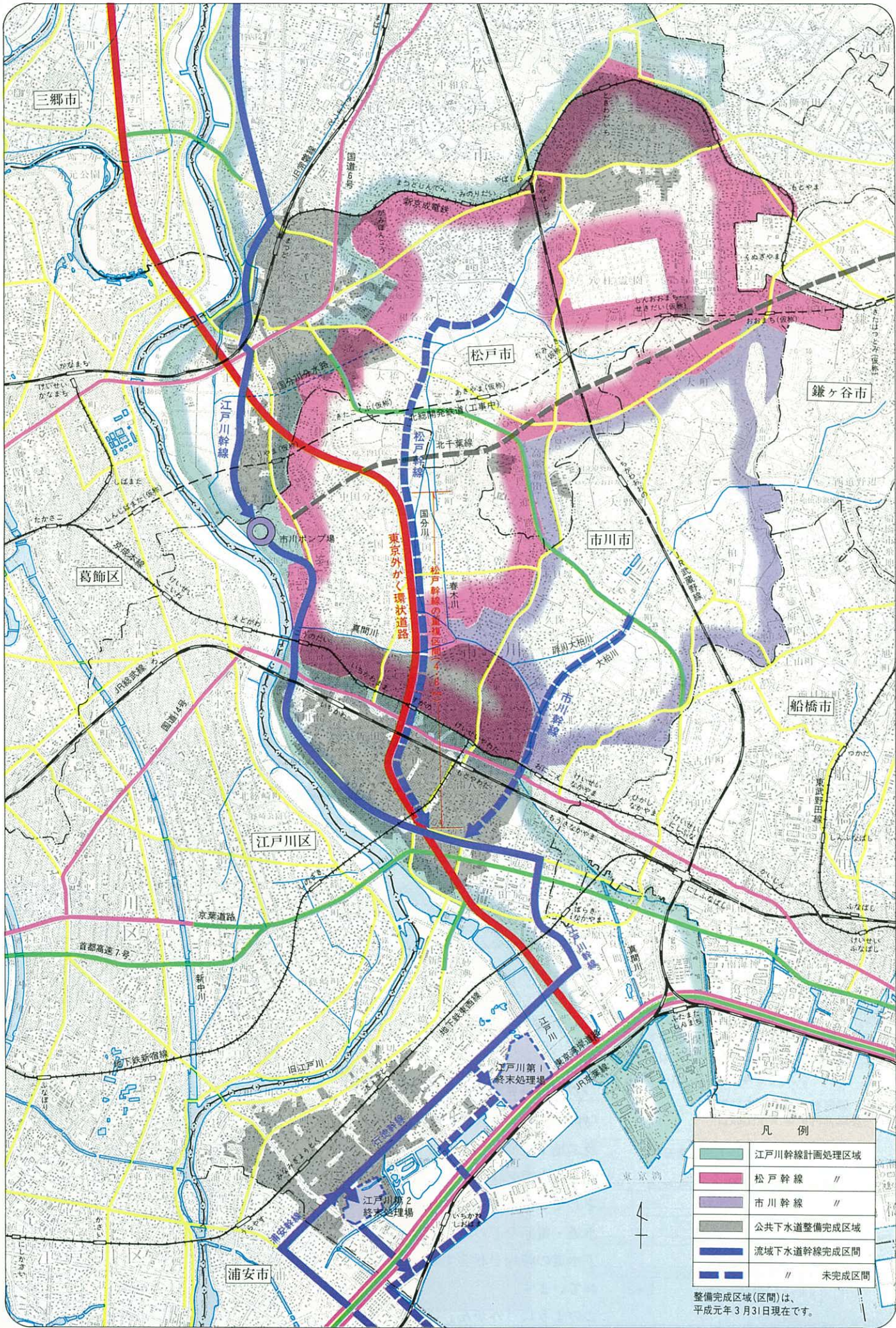
流域下水道の幹線は、公共下水道からの下水が流れ込みやすいように、土地の低い部分に位置する必要があります。また、管の径が大きいことから十分な幅員の道路に収容する必要があります。3本の幹線のうち、松戸幹線は全延長8.5kmで、その半分以上の約4.8kmが「外かん」の地下に収容される計画となっています。

江戸川左岸流域下水道計画(全体計画)

- 関係都市／市川市、松戸市、流山市、野田市、柏市、船橋市、浦安市、閏宿町
- 都市計画決定／昭和48年3月
- 計画処理面積／19,948ha
- 計画処理人口／1,525,100人

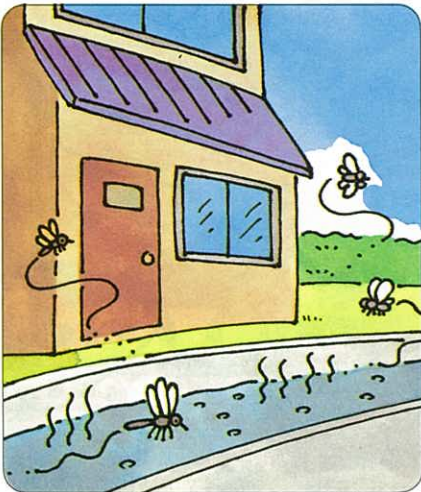
松戸幹線の計画

- 計画処理面積／3,050ha<松戸市1,805ha(松戸市面積の約30%)、市川市1,245ha(市川市面積の約22%)>
- 計画処理人口／268,300人<松戸市146,700人、市川市121,600人>



清潔な生活環境をつくれます。

道路の側溝や水路に生活雑排水などの汚れた水が流れこむと、悪臭や蚊・蠅などの発生原因となります。下水道が整備されれば、汚水は速やかに住宅地周辺から除かれ、生活環境が改善されます。



暮らしを快適にします。

下水道が整備されると、水洗トイレに変わるため、いやな臭いがなくなります。また、くみ取りや浄化槽も不要になります。



川がきれいになります。

春木川や真間川の水が汚れている大きな原因は、汚水が処理されないまま川に流されていることにあります。下水道が整備されれば、汚水は処理場できれいに浄化されてから河川や海に放流されるため、川がきれいに魅ります。

●汚い川ベスト5
(昭和63年度、BODの高濃度上位5水域)

順位	水域名 (都道府県名)	年度平均値 (75%値) (mg/ℓ)	最大値 (mg/ℓ)	環境 基準値 (mg/ℓ)
1	春木川 (千葉県)	44(47)	72	10以下
2	不老川 (埼玉県)	37(55)	90	10以下
2	金熊寺川 (大阪府)	37(40)	160	2以下
4	巴波川上流 (栃木県)	35(47)	140	5以下
5	武久川水系 (山口県)	33(61)	91	3以下
5	空堀川 (東京都)	33(40)	75	10以下

最大値は、BODの日間平均値の年度最大値。
平成元年環境庁資料より。



全国一*汚い。とされた春木川

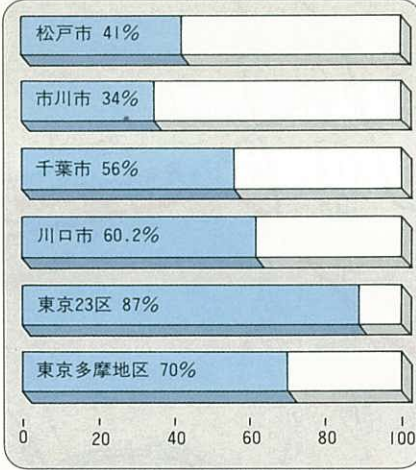
浸水解消に役立ちます。

河川を改修しても、住宅地周辺から河川まで雨水を流さなくては浸水はなりません。下水道は、污水管だけでなく雨水管も整備しますので、地域の浸水解消に役立ちます。



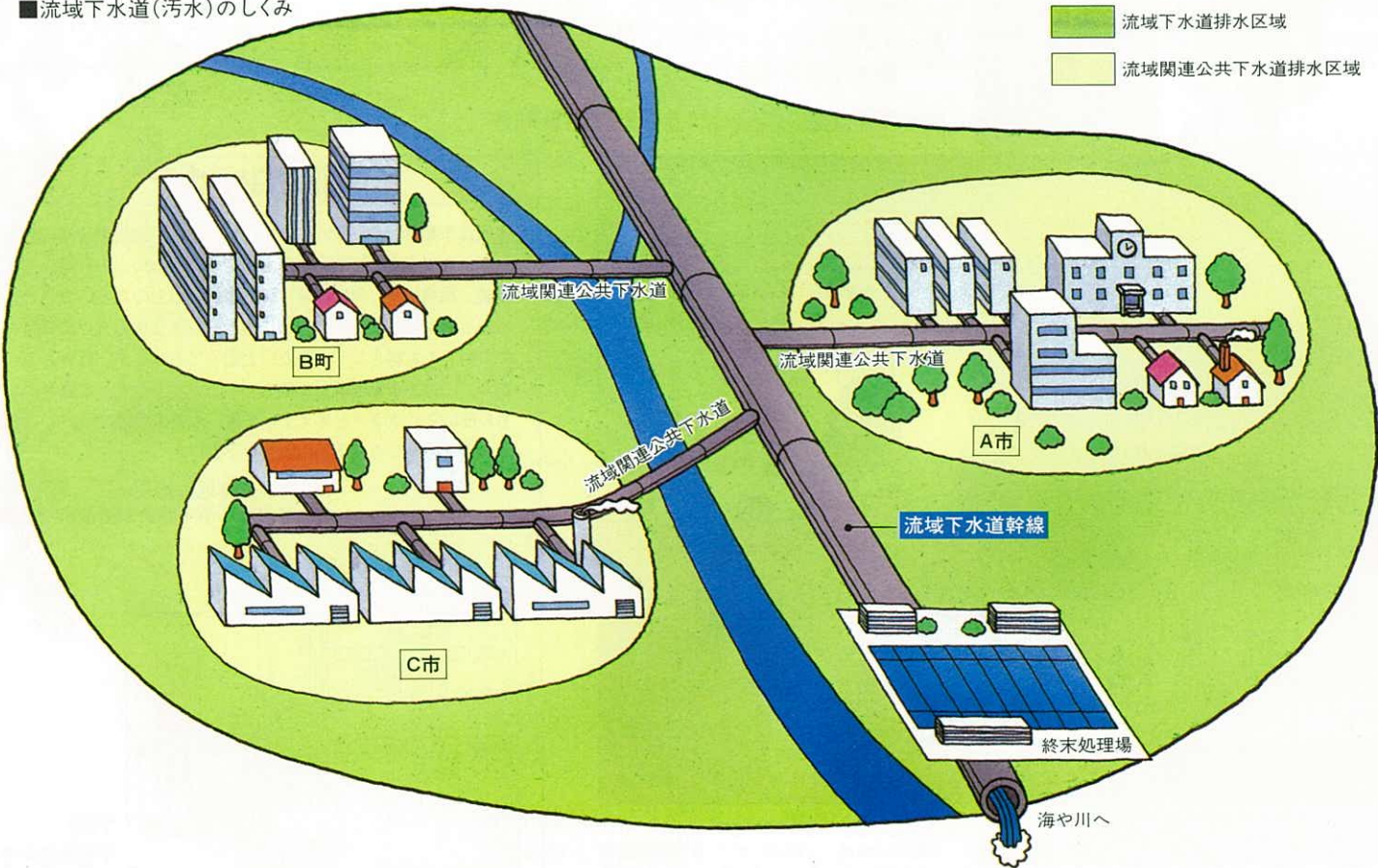
市川市内の浸水状況

●公共下水道の普及率(人口比)



昭和63年度千葉県統計年鑑・埼玉県統計年鑑・東京都資料より。

■流域下水道(汚水)のしくみ



下水道は、文化のバロメーター。
快適な暮らしのために欠くことはできません。

外かく環状道路の概要

外かく環状道路とは—

「外かん」は都心から半径約15kmの東京23区の外縁部に位置する環状道路です。全体延長約85kmのうち、世田谷区から市川市に至る約67kmが都市計画決定されています。

「外かん」は都心に集まる多くの高速国道や一般国道を相互に接続して、集中する交通を適切に分散・導入し、首都圏の渋滞緩和に大きな役割を果たす道路です。

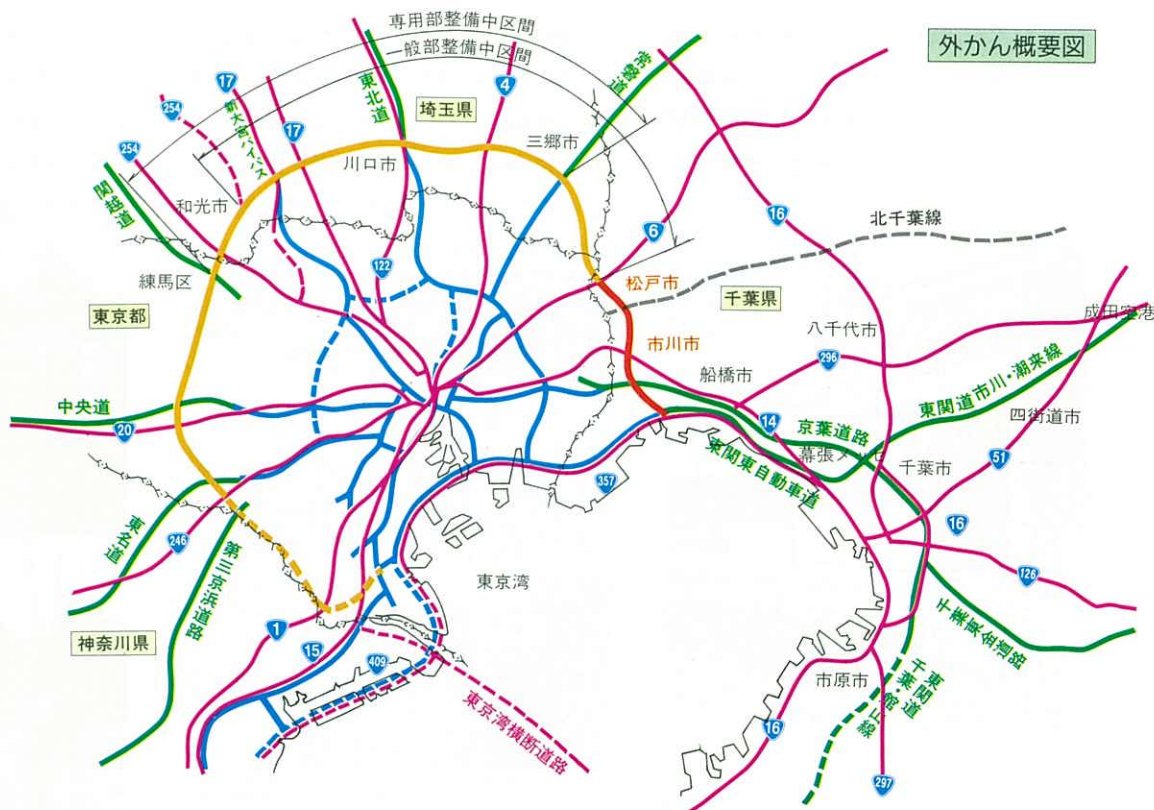
「外かん」の通過する松戸市南部と市川市の既存道路は幅員が狭く歩道が設置されていない片側1車線の道路が多いため、慢性的な渋滞が生じています。「外かん」はこれらの渋滞を緩和し、南北の交通軸となります。

千葉県下の「外かん」は昭和44年に幅員40mの高架構造で都市計画されていましたが、昭和62年10月に構造を見直した「再検討案」が建設省関東地方建設局長から千葉県知事に提示され、知事はこれを受けて、松戸市長・市川市長に対し、検討を依頼しました。

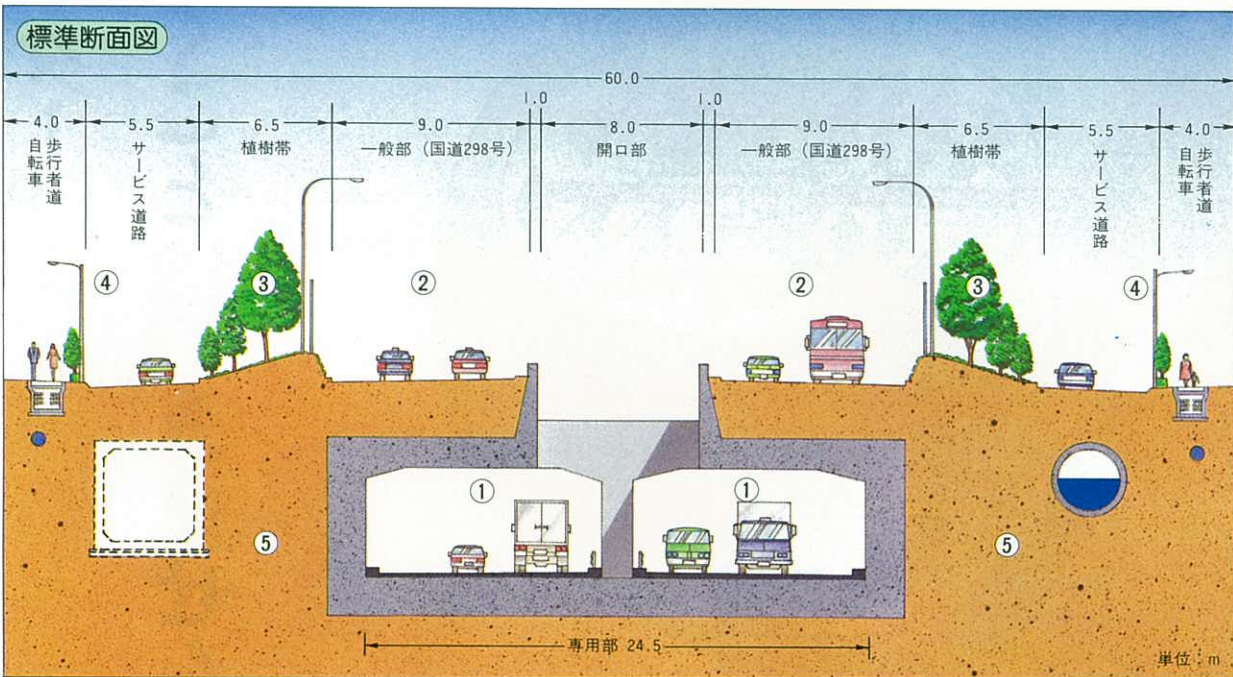
「再検討案」では、専用部（高速道路）を地下におろし、さらに、両側に幅広い植樹帯や歩道を設置した幅員60mの掘割スリット構造としました。

これに対し、平成元年12月には、松戸市長から受け入れの回答が出されましたが、市川市では、現在検討中の状況にあります。

なお、埼玉県区間では、現在、関越道から常磐道に至る約30kmの区間について、鋭意、工事が進められています。



建設省再検討案

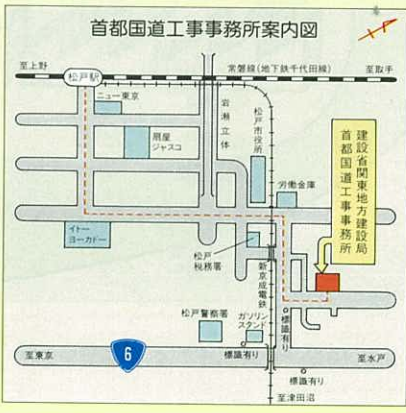


- ①専用部(高速道路) 広域的な通過交通を地域から吸収するとともに、他の地域への高速交通手段となります。
- ②一般部(一般国道298号) 市内の街路と密接に連絡し、南北方向の交通軸となるとともに、バス路線としても活躍するなど、まちづくりの骨格となります。
- ③植樹帯 十分な緑化を行い、みどり豊かなまちづくりに貢献します。また、この中に遮音壁を設置し、沿道の環境を保全します。
- ④サービス道路、自転車歩行者道 サービス道路は、沿道街地の地先道路となり、また、自転車歩行者道により、快適で安全な通行が確保され、これらは地域に密着したコミュニティ空間となります。
- ⑤地下収容空間 上下水道・ガス・電気・電話など暮らしに欠かすことのできない施設を収容します。

相談コーナー

本紙は千葉県内の「外かん」の計画について、住民の皆様によく知っていただくために発刊するものです。「外かん」の計画、道路の構造、環境対策、用地補償、移転者対策などのことについて逐次お知らせするとともに、当所に寄せられた住民の方々の質問などについてもお答えしていきたいと思っております。皆さんの「外かん」に対する御理解と御協力をいただくうえで、本紙が少しでもお役に立てば幸いと考えています。本紙の内容についてご質問等がございましたら下記にお寄せ下さい。

建設省関東地方建設局
首都国道工事事務所調査設計第一課



〒271
千葉県松戸市
竹ヶ花86
☎0473-62-4115